

GLOCOM研究ワークショップ 2020 Autumn

デジタル・アーキテクチャの近未来

— 誰が、どう連携しデザインするのか

#2 IOWN構想のアーキテクチャと実現に向けた取り組み

2020年11月26日 (木) 16:00 ~ 17:30@Zoom

● プログラム概要 ●

Society5.0が、様々な政策や新たなビジネス創出への共通目標として定着した昨今、デジタル庁の新設への動きにみられるように、いよいよコンセプトから社会実装への具体フェーズへと進行することが求められている。

高度化し専門性が増すデジタル技術を、多様化・複雑化した社会に活用することは容易ではない。複数の分野が横断的に連携しながら機能するシステムが求められ、これまでのデザインやエンジニアリングの思想からの脱却やプロセスの再設計、また異なるステークホルダーが協働する際のリーダーシップの在り方について「誰が、どう連携しデザインするのか」の共通認識と行動が、いまだが問われているのではないだろうか。

そこで本シリーズでは、改めて私たちが創造しようとしている近未来の「デジタル・アーキテクチャ」に着目する。第1回は将来のガバナンスが、国家による法整備から、企業が主体となり個人やコミュニティのフィードバックを得ながら標準・ガイドラインを自主的に定めていくモデルへ転換していくことが示された。

第2回は、企業がリーダーシップをとりアーキテクチャを構築していく具体的取り組みとして、NTTグループが提唱する「IOWN構想」のアーキテクチャに着目し、その実現に向け求められる企業間あるいはマルチセクター間での連携の在り方、進め方について展望していく。

● 講師 ●

久野達也

日本電信電話株式会社

技術企画部門 技術革新推進室 室長

※敬称略



● コメンテーター ●

前川 徹

国際大学GLOCOM 主幹研究員

東京通信大学情報マネジメント学部学部長・教授



● Time Table ●

16:00	イントロダクション
16:05	講演
16:50	コメンテーターによる 代表質問
17:10	参加者の皆さまとの 質疑応答

進行 小林奈穂 (国際大学GLOCOM 主任研究員)

● 講師 ●

※敬称略

久野達也

日本電信電話株式会社
技術企画部門 技術革新推進室 室長

慶應義塾大学工学部卒、Purdue大学経営大学院修了。1995年日本電信電話株式会社に入社。入社後一貫して、通信ネットワークのプランニング・オペレーションに従事。2015年より、米国の研究開発拠点である、NTT Innovation Institute Inc.の CAO兼CFOとして渡米。2019年、帰国後、日本電信電話株式会社 技術革新推進室長として、NTTグループの新たなビジョンであるIOWN構想の具現化を推進中。
技術士（電気電子部門）、米国公認会計士。



● コメンテーター ●

前川 徹

国際大学GLOCOM 主幹研究員
東京通信大学情報マネジメント学部学部長・教授

1978年通商産業省入省、機械情報産業局情報政策企画室長、JETRO NYセンター産業用電子機器部長、IPAセキュリティセンター所長、早稲田大学大学院国際情報通信研究科客員教授（専任扱い）、富士通総研経済研究所主任研究員、サイバー大学IT総合学部教授等を経て、2018年4月から東京通信大学情報マネジメント学部学部長。この間、一般社団法人コンピュータソフトウェア協会専務理事、国際大学GLOCOM所長などを兼務。



● 企画・進行 ●

小林 奈穂（国際大学GLOCOM 主任研究員）

2000年より、デジタル&リアルメディアを横断したデータドリブンなブランディング、コミュニケーション、クリエイティブ戦略企画・開発のプロデュースに携わる。ネットイヤーグループ株式会社、株式会社デジタルパレット（現：電通アイソバー株式会社）、富士ゼロックス株式会社等を経て、2015年4月より現職。個人と組織の創造性に関する研究や、政策提言に向けた活動であるGLOCOM 六本木会議の運営など、産官学民とともに社会の共通課題を導き、研究する各種プロジェクトの企画・プロデュースを行っている。

